

【施設状況】

グループ名称	ながのこども館(城山公園屋内遊戯施設)									
指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社						法人番号	9100005000010		
所管課	主	202500	公園緑地課	副						
構成施設	22043	ながのこども館								
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	・所在地 長野市上松2丁目4番5号 ・建物の構造 鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階 ・延床面積 3,408㎡ ・エリア 森のたんけんひろば、科学と創造のひろば、宇宙アスレチック等 ・その他施設 親子トイレ、休憩スペース、事務室等									
施設設置目的	・天候に左右されず安心して利用できる施設として、一部の科学展示物を活かしながら、からだを動かすことで心身の発達を促す遊具や、デジタルコンテンツの導入により、親子や子育て世代間の交流を通じて豊かな感性と将来のデジタル人材の育成を図ることを目的とする。									
基本方針等	・サイエンスショーやプログラミング教室の開催等、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、子育て世代間の交流ができる、地域に根ざした施設となることを目指す。また、公設民営施設として民間の経営力を発揮し、長野市の負担が最低限となることを目指す。									
主な実施事業	・利用料金の収受と施設の維持管理 ・サイエンスショー・工作や親子の交流を促進する教室の開催 ・デジタルコンテンツの提供 ・エリアごとの利用者の補助 ・混雑時の施設収容者数の管理 ・利用促進のため広報活動									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社			当該指定管理者の 指定回数	1 回	
指定期間	令和6年6月13日	～	令和9年3月31日	2年10か月	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和6年6月13日
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 67

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価	
	合計入館者数	人			110,357	133,036	121%		
	内訳 中学生以上	人			49,486	59,279	120%		
	小学生	人			18,889	23,662	125%		
	未就学児	人			36,974	43,885	119%		
	減免対象者	人			5,008	6,210	124%		
(特記事項) 令和6年7月28日オープン、土日祝日:3クール予約制、休館日:火曜日(祝日の場合は翌日)・12/29~1/3									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				4
	市指定事業	・利用料金の収受と施設の維持管理 ・親子の交流を促進する教室やサイエンスショーなど参加型教室の企画 ・デジタルコンテンツの提供 ・エリアごとの利用者の補助 ・混雑時の施設収容者数の管理 ・利用促進のため広報活動			(追加) ・プログラミング教室 ・城山動物園コラボイベント ・企業コラボ ・期間限定キャンペーン(クリスマス・ひなまつり)				
	自主事業	・キッチンカーの誘致 ・売店運営			(追加) ・カプセルトイ(ガチャ)の導入				
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・季節のイベント開催、季節の装飾、混雑時緩和のため臨時イベント開催、スタンプカードの導入 ・キッチンカーの誘致、売店での子ども生活用品(おしりふき、手口ふき、着替え等)、オリジナルグッズ、知育玩具他の販売 ・HP、SNS等の活用、子育て世帯向け情報誌の特集記事広告、テレビ放送、お出かけ特集等の取材、イベント等でチラシ配布 ・デジタルサイネージによるこども館と城山動物園のイベント紹介							

3 利用者評価

利用者評価		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握		(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート (2) 調査、会議等の内容 ・利用者アンケートの実施(紙アンケート167件/Googleアンケート35件/その他28件) ・こども1問アンケート(2回目まで) 1回目お題:ながノビ! でどんな遊びやイベントがあったら楽しいか教えてください。180件 2回目お題:あなたがお友達にオススメしたい絵本や本があったら教えてください。251件 ・遊び場人気シールアンケートの実施(アンケート総数2,030件) (3) 調査、会議等の結果 ・アンケートで得た意見・要望を施設の運営やイベント企画等に活かした。 【紙アンケート】167件 ・利用回数(始めて63%、2~10回35%、10回以上2%) ・総合評価(とても良い59%、良い29%、悪い5%、とても悪い7%) ・滞在時間(2H未満77%、3H未満16%、3H以上7%) 【Googleアンケート】35件 ・どの遊具が楽しかったか(1位:リトルアルプス、2位:水中ローリング、3位:ブラックホールシュート) ・総合評価(とても良い55%、良い34%、悪い11%、とても悪い0%) ・スタッフの対応(受付 とても良い60%、良い26%、悪い11%、とても悪い3%) (1階エリア とても良い50%、良い32%、悪い14%、とても悪い4%) (地下1階エリア とても良い44%、良い36%、悪い15%、とても悪い5%) 【遊び場人気シールアンケート】2,030件 アンケート結果:人気遊び場1位:リトルアルプス 2位:水中ローリング 3位:ブラックホールシュート	4
		利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 ・サイエンスショーは、大人でも楽しかった。・遊び場やトイレも清潔で安心して遊べました。 ・団体が帰った後、リトルアルプス(森のたんけんひろば)を入念に拭き取りをしていて感激しました。このようにしてくれることが、清潔な施設の維持となることを強く感じました。 ・駐車料金が2時間無料になるのはありがたい。 ・自動販売機の種類が豊富で嬉しかった。 ・入口の案内スタッフにパスで来た話をしたところ、「暑い中、ありがとうございます」と声を掛けてもらい嬉しかった。 (2) 苦情・改善等の要望事項 ①料金が安い(多数) ②遊ぶ物が少なく飽きてしまう。 ③工作の参加人数を増やしてほしい。 ④コンセプトがよくわからない。 ⑤地下1階の展示物の故障が多すぎる。お金を払い入館するのに納得できない。 ⑥イベントが目的で行ったのに、開催してなく残念でした。イベントの告知をもっとしっかりしてほしい。 ⑦混雑時のレジの待ち時間の改善をしてほしい。 ⑧ベルト付のこども椅子を増やしてほしい。 ⑨クール制の際に時間にならないと遊具に入れないのが納得できない。 ⑩年間パスポートがあったら良いと思う。 ≪対応措置≫ ※上記の「利用者からの評価・要望・苦情・改善等」対応項目を記載 ③工作の参加人数増加を実施予定。 ⑥SNS等の発信は各エリアの担当から、迅速、頻繁に投稿実施。 ⑦レジが混雑しているときは、待機列からレジへの誘導と先に駐車券の認証を行う業務を追加し、レジでの業務を短縮しています。 ⑧使用頻度を確認後、ベルト付こども椅子4脚購入済。 ⑨利用人数の上限があるためクール制にすること、クールの間に清掃やおもちゃの消毒をしていることを伝え納得していただくよう説明をしている。	

4 事業収支

No. 67

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算(前年度)			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位:円)	指定事業	利用料金	63,060,000	利用料金	50,873,800	歳入	使用料	116,760	使用料	50,400
		指定管理料	84,657,000	指定管理料	84,657,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
		販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
		その他収入	2,033,000	その他収入	3,582,171		その他		その他	
		収入計	149,750,000	収入計	139,112,971	利益配分	372,334	利益配分	9,727,622	
		人件費	68,865,000	人件費	70,324,659	歳出	計	489,094	計	9,778,022
		設備管理費	12,264,000	設備管理費	12,484,402		指定管理料	84,657,000	指定管理料	87,115,000
		備品購入費	500,000	備品購入費	359,227		委託料	1,493,360	委託料	5,805,828
		修繕費	1,374,000	修繕費	736,018		需用費		需用費	7,202,679
	光熱水費	16,279,000	光熱水費	12,050,078	役務費			役務費		
	事業費	18,204,000	事業費	11,753,241	使用料・賃借料		1,500,000	使用料・賃借料	1,500,000	
	事務経費	7,939,000	事務経費	8,215,968	修繕費			修繕費		
	本社経費	10,026,000	本社経費	10,053,717	工事請負費		1,705,000	工事請負費	2,626,800	
	その他	14,299,000	その他	12,763,327	備品購入費		2,348,610	備品購入費	9,407,909	
	支出計	149,750,000	支出計	139,112,971	その他			その他		
	指定事業損益	0	指定事業損益	0	計	91,703,970	計	113,658,216		
	自主事業	収入		収入	2,797,514					
		支出		支出	1,288,017					
		自主事業損益	0	自主事業損益	1,509,497					
損益	0	1,509,497	差引	-91,214,876	-103,880,194					
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									50.6%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				計画額は、本社経費を除いた税抜支出に7.95%を乗じて算出し、実績額は税抜収入に7.95%乗じて算出しているため						

5 管理運営全般 ※ すべて [] で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 28人(28人)[常勤10人、非常勤18人]		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☑	
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 67

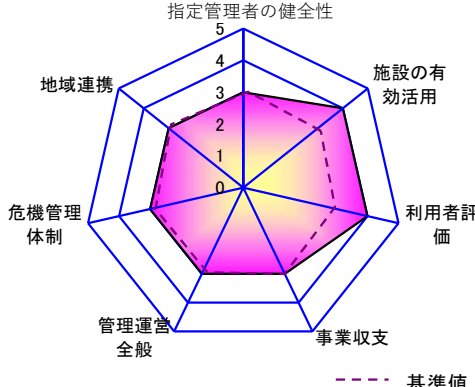
区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか	3
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか	

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・地元イベントへの参加(ながの子ども・子育てフェスティバル他) ・隣接する城山動物園との連携イベント、ナイトZOOにて売店の露店販売とPR ・市内大学生と連携し、親子で楽しめるイベントを開催 ・ボランティア、学校の職場体験、インターシップ、先生の異業種体験研修の受入れ ・長野市と連携した「みらいハッ！ケン」プロジェクトへの参画	(追加) ・城山動物園と協力し、地域の方が利用する道路(こども館南側通路、階段等)の除雪を実施した。	

【総合評価】

総合評価

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	4	16		
	利用者評価	4	16	68	
	事業収支	3	12		
	管理運営全般	3	6		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	3	6		

評価理由	・来館者の確保のため、長野市が主催する「管理運営検討委員会」及び「作業部会」で出た意見を参考にした各種プログラムの実施、企業コラボ及び季節のイベントやキャンペーンの実施をしていることや、一般利用者と団体利用者の利用方針を決めて実施したことから、「施設の有効活用」は「4」とした。 ・利用者アンケート結果から、総合評価が高かったことや、利用者からの要望に対して組織内で共有し、対応していることから、「利用者評価」を「4」とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	平日の一般利用者と団体利用者の利用方針(利用時間帯やエリアのすみ分け)を明確にし、一般利用者の安全安心な利用に尽力する。	一般利用者への配慮を前提とし、怪我やトラブルがなく遊具等を適正な人数で利用できるよう団体用ローテーションのプログラムを組み実施。R7年度は、大きな怪我やトラブルはなかった。	こころんシアター及び科学と創造のひろばの有効活用等を検討するとともに、城山公園内の他施設等との連携を強化する。
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・開設から3年目を迎えることから、施設の認知度向上から、利用の定着及びリピーターの確保へと重点を移し、より多くのこどもとその保護者に継続して利用される施設運営を目指す。 ・利用者アンケート等により把握したニーズを踏まえ、イベントの回数及び内容の見直しを行い、より効果的なイベント事業を推進する。		

指定管理者自己評価			
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ・安全、安心な施設の提供を継続。(清潔な館内と見守りスタッフの配置) ・オープンから2年目となり利用者数は減少したが、毎月恒例のイベントや工作の周知が定着し参加者が増加した。 ・平日は、乳児・未就学児親子向けのイベント(のびのびパーク、つくってみよう)、土日祝日は未就学児から小学生までが楽しめるイベント(チャレンジ工作、サイエンスショー、プログラミング教室等)を実施。またコンテンツの内容を充実させ、リピーターの飽きがこないよう努めた。 ・課題であった一般利用者と団体利用者の利用方針については、一般利用者への配慮を前提とし、怪我やトラブルがなく遊具等を適正な人数で利用できるよう団体用ローテーションのプログラムを組み実施。 ・R7年度は、大きな怪我やトラブルはなかった。 ・団体の予約方法をメールかFAXのみとした。このことにより、予約内容をよく確認し、無理なく予約を受けることができた。 ・スタンプカードの実施、各種キャンペーンを行い利用者に好評だった。 ② 業務の効率化に対する取組み ・全てのスタッフがデータを共有できるフォルダを活用。 ・事務仕事の効率化、アンケート・ヒヤリハット・トラブル記録簿等をすぐに共有することができた。 ・週1回の3社ミーティングを開催し、報告連絡事項の調整を実施。またこども部会(館長、副館長、フロア長を除く3社から各1名)を立ち上げ、簡易な問題等をみんなで解決していく仕組みづくりができた。 ・時差出勤をすることにより、時間外勤務の削減を図った。 ③ その他 ・長野市役所内の関係課等が連携して具体的な業務内容の検討を行う「管理運営検討委員会」と「作業部会」に参加し、各会が出た意見を参考にソフト面やハード面に反映出来るよう取り組んだ。			
(2) 指定管理者業務実施上の課題 ・人気のエリアが決まっている中で、混雑時に利用者が分散できるよう、引き続き対策をする必要がある。 ・R7年度は、対策を講じたことにより大きな怪我やトラブルがなく営業が出来た。 ・地下1階の展示物やパノラマ交通の故障が多い。 ・20回以上のリピーターが多数おり、ほとんどのリピーターが遊具で遊び尽くしたため、イベントや工作に参加している状況。			
(3) 総合評価	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	C
① 評価理由 ・第一に利用者が安心・安全に利用できる施設の提供を継続した。 ・事業計画通りにイベントを実施した。 ・イベント、工作、サイエンスショーの内容を充実させ、リピーターに飽きがこないように努めた。 ・前年度からの課題である「団体の受入れ」について、試行錯誤を繰り返しほぼ完成した。R7年度は、怪我やトラブルなく実施できた。 ・シアターの上映計画を立て放映した。 ・団体用のチラシを作成し、長野市の協力のもと配信することができた。 ② 次年度以降の取組み ・混雑時に利用者が分散できるよう、引き続き分散対策を実施する。 ・令和9年の善光寺御開帳には、更に多くの外国人観光客の利用が見込まれるため、翻訳機だけでなく、どのスタッフでも最低限の情報を伝えられるよう、会話カードの導入等を検討。 ・長野県内でもこども館を知らない、利用したことがない方が大勢いるため、認知度を高めるための広報PRに注力する。			